



工事のうつりかわり

第1期改修工事に引き続き、**明治40年（1907年）に佐原から取手までの52kmにおいて第2期改修工事が着手**されました。ところが、明治43年（1910年）8月に希有の洪水に見舞われ、新たな計画に基づき明治44年（1911年）から浚渫及び築堤工事に着手し、昭和5年に竣工となりました。しかし、昭和に入ってから利根川流域ではカスリーン台風など度重なる水害が発生し、戦前から戦後にかけて増補計画工事（断面改修）、改修改訂工事（上流ダム群の新設など）が行われました。

我が国初のスーパー堤防

昭和62年、計画規模を上回る超過洪水による破堤に伴う甚大な被害の発生を回避のため、**高規格堤防（スーパー堤防）整備事業**が創設されました。利根川においては柴町矢口（やこう）地区をはじめ、柴町、香取市で整備されています。**柴町矢口には我が国第1号のスーパー堤防**であることを記した記念碑が建立されています。



カスリーン台風後の救助の様子（現在の柏市花野井付近）
昭和22年9月



矢口スーパー堤防と工業団地（中央左側が矢口スーパー堤防）
平成20年撮影



スーパー堤防発祥の地記念碑
（柴町矢口）



スーパー堤防模式図

内務技監工学博士中川吉造君像（香取市佐原）



水の郷さわらと展示機械



近年の取組

香取市にある道の駅「水の郷さわら」は、防災拠点や水辺利用拠点、文化交流拠点などの機能を複合した施設として平成22年にオープン。防災教育展示室や、昔の利根川改修工事で使用された建設機械の展示などがあります。また、近くの国土交通省利根川下流河川事務所の裏手には、**大正15年（1926年）に工事主任として利根川改修工事を完成**させるなど約40年間にわたり利根川改修工事に尽力した**内務技監工学博士中川吉造氏の像**も建っています。